

令和4年度

苫小牧市科学センター年報

Annual Report of the Tomakomai City Science Museum

2022 【改訂版】

苫小牧市科学センター

Tomakomai City Science Museum

目 次

I	沿 革	1
II	施設の概要	3
1	所在地、敷地及び建物	
2	用途別面積	
3	各階平面図	
III	組織及び職員	6
IV	展示及び天文設備	7
1	本館展示室	
2	プラネタリウム・天体観測室（天文台）	
3	ミール展示館	
4	屋外展示	
V	事業推進における重点	9
1	科学展示活動	
2	天文普及活動	
3	科学体験活動	
VI	事業推進のための方針	9
VII	事業概要報告	10
1	科学展示活動	
(1)	夜間開館	
(2)	2022 年青少年のための科学の祭典苫小牧大会	
(3)	第 57 回苫小牧市小中学生発明工夫（アイデア工作）展・第 52 回苫小牧市小中学生理科展	
(4)	巡回展「はやぶさ 2 のミッションにチャレンジ！」の開催	
(5)	特別展「星の衝突で、何ができた？～月のうさぎと私たちの地球～」の開催	
(6)	特別展「はやぶさ 2」実物大模型の展示	
(7)	宇宙ステーション「ミール」ガイドツアー	
(8)	館内ウォークラリー	
2	天文普及活動	
(1)	プラネタリウム投影	
(2)	星空観望会	
(3)	移動天文教室	
3	科学体験活動	
(1)	科学センター学習	
(2)	科学・工作教室	
(3)	工作教室	
(4)	電子工作教室	
(5)	科学ふれあい教室	
(6)	移動科学センター	
(7)	特別企画「南極についての話を聞こう」の開催	
4	関係団体・機関との連携活動	
VIII	入館者の動向	16
IX	苫小牧市科学センター条例・規則	17
X	利用案内	20

I 沿革

年 月 日	内 容
昭和42. 4. 13	北海道百年地域記念事業として、博物館「苫小牧市青少年センター」の建設を北海道に陳情
44. 10. 23	青少年センターの業務開始
45. 1. 15	落成式、開館業務を開始
7. 30	全道高等学校理科学研究大会開催
46. 4. 15～16	北海道青少年科学館職員研修会開催
6. 16	公立博物館として登録（北海道教育委員会告示第39号北博登第11号）
47. 6. 25	壁画「芽の出る音」（谷内六郎原画）除幕式
6. 29	第11回北海道博物館大会開催
11. 1～26	特別展「苫小牧地方化石展」開催
48. 8. 3～13	特別展「苫小牧市開基百年記念展」開催
12. 4	新博物館建設に向け、「郷土博物資料収集委員会」発足
49. 6. 13	北海道青少年科学館連絡協議会総会開催
50. 6. 8	蒸気機関車「たるまえ号」（C11型）展示披露式
52. 9. 13～14	北海道青少年科学館職員研修会開催
11. 1～20	特別展「自然への招待（昆虫の世界）」開催
53. 6. 10～8. 9	特別展「化石展（白亜紀大型化石）」開催
9. 16～10. 21	開館10周年記念「宇宙科学特別展」開催
55. 3. 16～23	「レオナルド・ダ・ビンチ特別展」開催
56. 11. 27	博物館建設準備委員会発足
57. 10～58. 11	博物館基本設計・実施設計完成
60. 11. 3	新博物館（苫小牧市博物館）開館 新博物館の完成により、本施設を「苫小牧市科学センター」と改称
61. 2. 27	科学センター1階展示室改修工事着工
62. 6. 2	館利用者200万人達成
8. 4～6	特別展「木のおもちゃ展」開催
63. 7. 22	天文宇宙コーナー設置
平成元. 10. 28～11. 5	開館20周年記念特別展「ミクロの世界」開催
2. 3. 25	開館20周年記念事業として、プラネタリウム投影装置更新整備を完了、披露式
4. 5. 29～6. 7	特別展「移動宇宙展」開催
5. 9. 25～26	苫小牧こども科学祭開催
6. 10. 29～11. 13	特別展「カメラの発達史展」開催
7. 10. 28～11. 19	特別展「恐竜の世界展」開催
8. 10. 26～11. 17	特別展「望遠鏡の世界展」開催
10. 2. 14～3. 15	特別展「錯覚の世界展」開催
7. 1～9. 30	特別展「市制施行50周年記念行事・海洋展しんかい6500」展示開催
9. 30	宇宙ステーション「ミール」寄贈
11. 12. 11	ミール展示館開館
12. 11～1. 30	特別展「宇宙ステーション・ミールからの発信」開催
12. 9. 1～30	開館30周年記念特別展「アメリカから来たからくりロボット展」開催
10. 1～2	ロシア宇宙飛行士セレブロフ氏来館記念「宇宙教室」開催
13. 6. 1～14	特別展「おもちゃの世界展」開催
14. 8. 1～31	特別展「カメラの科学展」開催
15. 3. 26	防災・救急大型ヘリコプター「はまなす」寄贈
8. 1～3	企画展「宇宙から見た地球展in苫小牧」開催
8. 1～31	特別展「恐竜展」開催

年 月 日	内 容
平成16. 11. 2～30	特別展「毛利宇宙飛行士の部屋」開催
17. 8. 20	「青少年のための科学の祭典2005苫小牧大会」開催
11. 5	新展示「宇宙コーナー」開会式
18. 5. 27～10. 29	巡回展「サイエンスブック」開催
8. 12	「青少年のための科学の祭典2006苫小牧大会」開催
19. 2. 5	ロシア宇宙飛行士セルゲイ・アウデエフ氏来館記念「地球を眺めて748日」開催
8. 18	「青少年のための科学の祭典2007苫小牧大会」開催
20. 5. 23～25	「子ども宇宙サミット」開催
8. 9	「青少年のための科学の祭典2008苫小牧大会」開催
12. 3～21年度	巡回展「エネルギーラボ」開催
21. 8. 8	「青少年のための科学の祭典2009苫小牧大会」開催
8. 23	「桜の種」2009年宇宙の旅ウェルカムバックセレモニー
8. 29	ミール展示館開館10周年記念「ミールと音楽の集い～ミールと宇宙、ロシア民謡の集い」
22. 7. 31	「青少年のための科学の祭典2010苫小牧大会」開催
8. 18	JAXA参事 的川泰宣教授 宇宙講座「はやぶさ物語り」講演会
11. 6	宇宙飛行士 秋山豊寛氏苫小牧講演会「鋏と宇宙船」
11. 6～1. 19	巡回展「海のトリビア」開催
23. 7. 30	「青少年のための科学の祭典2011苫小牧大会」開催
24. 8. 4	「青少年のための科学の祭典2012苫小牧大会」開催
12. 28～1. 23	巡回展「ノーベル賞を受賞した日本の科学者」開催
25. 2. 13～20	CCS(二酸化炭素回収・貯留)パネル展 開催
3. 31	防災・救急大型ヘリコプター「はまなす」本館1階展示室移設
3. 31	ミール展示館 太陽光発電学習拠点整備設置
7. 28～8. 25	巡回展「オーロラ～宇宙からの手紙～写真展」開催
8. 3	「青少年のための科学の祭典2013苫小牧大会」開催
26. 8. 23	「青少年のための科学の祭典2014苫小牧大会」開催
12. 27～2. 1	巡回展「科学技術の『美』 パネル展」開催
27. 1. 10～2. 15	巡回展「時計の楽しみ」開催
7. 25～8. 16	巡回展「月のふしぎ」開催
8. 22	「青少年のための科学の祭典2015苫小牧大会」開催
28. 4. 23～5. 15	巡回展「太陽のふしぎ」開催
9. 10	「青少年のための科学の祭典2016苫小牧大会」開催
29. 8. 5～8. 27	巡回展「わたしたちのかけがえのない海」開催
9. 9	「青少年のための科学の祭典2017苫小牧大会」開催
30. 7. 14～8. 12	巡回展「地球から宇宙へ」開催
10. 13	「青少年のための科学の祭典2018苫小牧大会」開催
令和元. 4. 27～5. 19	巡回展「潜水調査船がみた深海生物」開催
6. 29	科学センター開館50周年記念事業「サイエンス・カフェ」開催
10. 5	ミール展示館開館20周年記念「はやぶさ2講演会」開催
10. 6	「青少年のための科学の祭典2019苫小牧大会」開催
2. 7. 11～8. 8	巡回展「こちら「はやぶさ2」運用室 漫画版」開催
3. 8. 6～8. 27	巡回展「ガガーリン 星への道」開催
4. 1. 6～1. 30	巡回展「日本の宇宙科学の歴史」開催
4. 23～5. 15	巡回展「はやぶさ2のミッションにチャレンジ！」開催
7. 23～8. 21	特別展「星の衝突で、何ができた？～月のうさぎと私たちの地球～」開催
9. 3	「青少年のための科学の祭典2022苫小牧大会」開催

Ⅱ 施設の概要

1 所在地、敷地及び建物

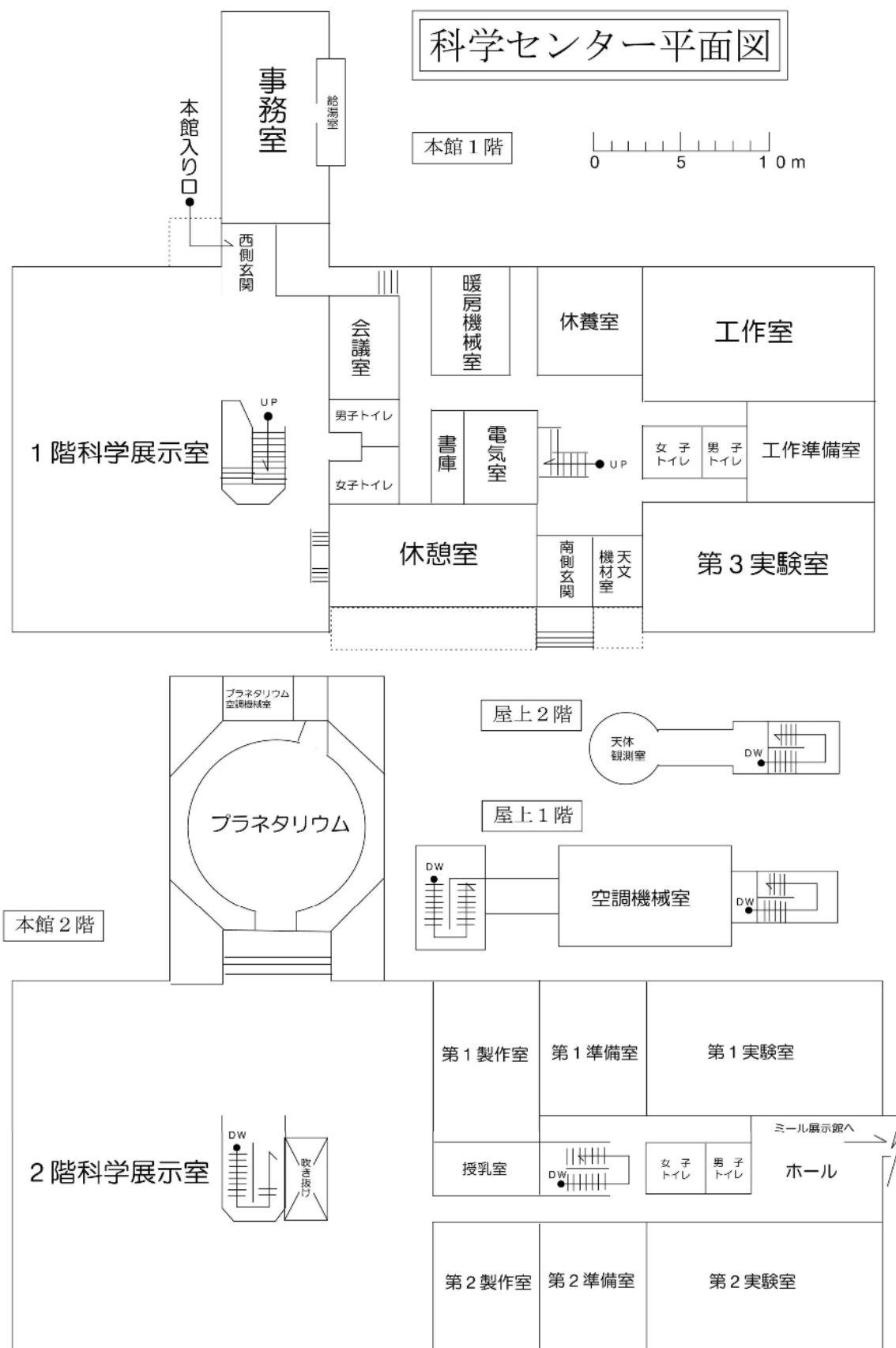
所 在 地	苫小牧市旭町3丁目1番12号	
敷 地 面 積	本館：2,610㎡	ミール展示館：1,801㎡
建物の構造	鉄筋コンクリート2階建 屋上2階	鉄骨造 ALC版+透湿防水仕上
建 築 面 積	1,107.000㎡（延面積 2,496.773㎡）	401.86㎡（493.51㎡）
工 事 費	155,782千円	119,962千円
	（主体：125,000千円、設備：30,782千円）	（主体：93,240千円、設備 26,722千円）
施 工	岩倉組土建株式会社	創建・大滝・山下共同企業体、阿部・野田共同企業体、東進建工株式会社

2 用途別面積

本 館									
分類	室名	面積(㎡)	比率(%)	収容人数	分類	室名	面積(㎡)	比率(%)	収容人数
科学展示 関 係	1階展示室	361			共用部分	ホール	485	19.4	
	2階展示室	488				トイレ			
	第1製作室	53				廊下・階段等			
	第2製作室	43				計	485		
	計	945	37.8		管理諸室	事務室	68	12.2	
科学体験 関 係	第1実験室	103		48		休養室	33		
	第2実験室	103		48		書庫	11		
	第3実験室	103		48		会議室	23		
	第1準備室	45				物品庫	14		
	第2準備室	45				給湯室	9		
	第3準備室	47				空調機械室	64		
	休憩室	65		25		暖房機械室	25		
	工作室	103		48		電気室	25		
	天文機材室	10				プラネ空調機械室	14		
	計	624	25.0			授乳室	18		
プラネタリウム室		126	5.0	84		計	304		
天体観測		13	0.5		合 計		2,497	100.0	

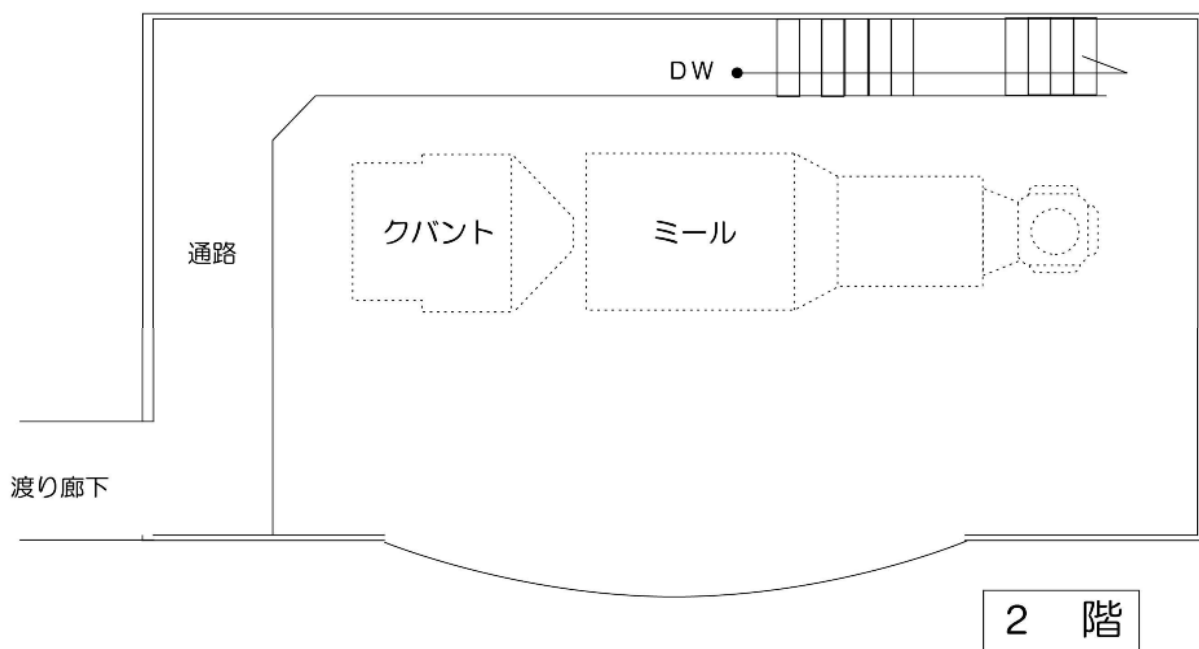
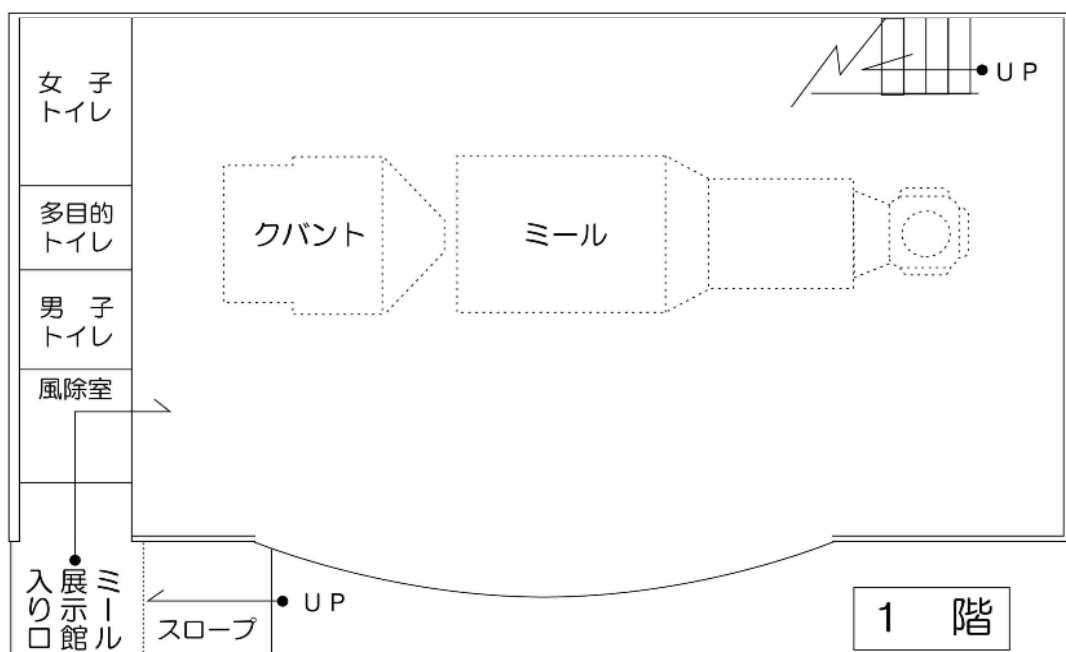
ミール展示館				
分類	室名	面積(㎡)	比率(%)	収容人数
展 示	ミール展示室	349	70.6	150
共用部分	トイレ	145	29.4	
	風除室			
	通路			
	渡り廊下			
	階段等			
合 計		494	100.0	

3 各階平面図



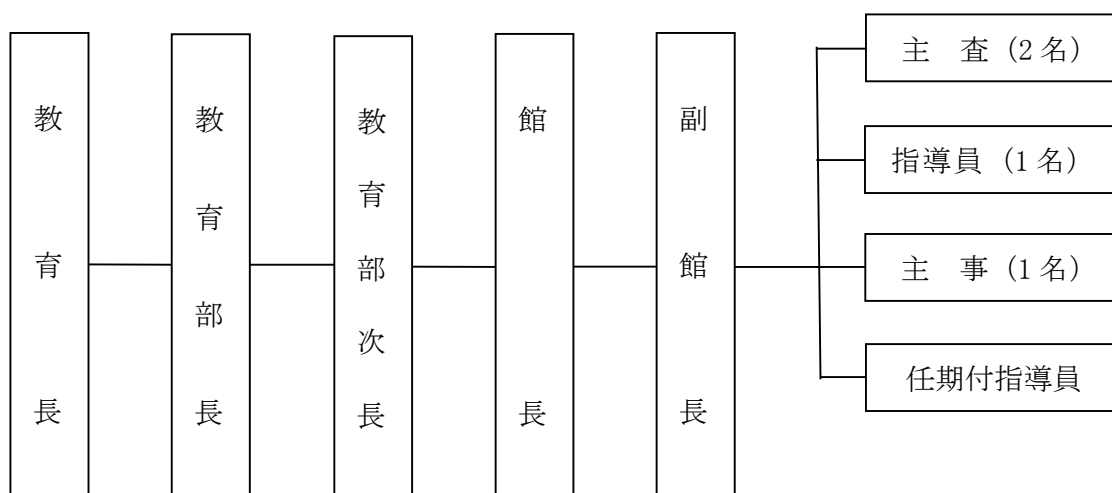
ミール展示館平面図

0 5 10 (m)



Ⅲ 組織及び職員

(1) 組織



(2) 職員

館長	高坂博幸	主査	遠藤直人
副館長	大坂かやの	主査	島崎雅之
		指導員	林麟太郎
		主事	小泉雅生
		任期付指導員	堀田稔
		任期付指導員	渡辺二夫
		任期付指導員	土田江里子

IV 展示及び天文設備

1 本館展示室

1階展示

航空コーナーには、北海道警察で使用していた、防災・救急ヘリコプター「はまなす」の実機や日本大学工学部滑空研究会より寄贈のチェコスロバキア製二人乗りグライダー、空気の流れや揚力の実験装置「航空の原理」などを展示している。その他、昭和38年国立こどもの国（横浜市）自動車訓練施設のこどもが運転できる自動車として作られた「ダットサンベビー」、市内の愛好家から寄贈をされたNゲージの鉄道模型等が展示されている。



2階展示

宇宙コーナーには、宇宙開発の歴史をたどる大壁面パネル、真空時の落下や音の伝わり方を知る「真空実験装置」、体験型「電動ジャイロ」、スペースシャトル模型が展示されている。

木のおもちゃコーナーは、ボランティア自作の幼児向け各種木のおもちゃで自由に遊べるコーナーである。

その他、「大型星座早見盤」「地球の動きと季節」「ファンタスコープ」「プラキシノスコープ」「地震の実験」「光と色の実験装置」「滑車」「楕円のビリヤード」「コロコロリング」等が展示されている。

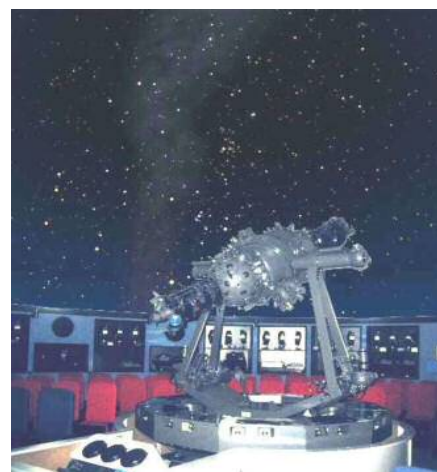


2 プラネタリウム・天体観測室（天文台）

プラネタリウム室

各種天文普及活動（一般投影・幼児向特別投影・学習投影・星空観望会・夜間投影）等に利用されている。

プラネタリウム型式	五藤光学GX-A T
	ドーム径 10m（水平式）
	座席数 84 席（一方向）
プラネタリウム開設	昭和 45 年 1 月 15 日
プラネタリウム改修	平成 2 年 3 月 25 日



天体観測室（天文台）

天文台には五藤光学製 15 cm 屈折式赤道儀が設置されていて、開館以来天文教室等に活用されてきた。

○型 式	15 cm据付型屈折赤道儀			
○光学性能	有効径	150 mm	分解能	0.77 秒
	焦点距離	2,250 mm	極限等級	12.7 等
	集光力	460 倍		



3 ミール展示館

平成 11 年 12 月、ロシア（旧ソ連）の宇宙ステーション「ミール」と実験モジュール「クバント」の予備機を展示・保管する施設としてオープンした。宇宙ステーション「ミール」は、平成 10 年 9 月、苫小牧市市制 50 周年を記念して岩倉建設株式会社から、将来の苫小牧を担う子供達のために苫小牧市に寄贈されたものである。



4 屋外展示

蒸気機関車（C-11-133 号）

昭和 50 年に旧国鉄より永久貸与された。

機 種	C-11-133 号
愛 称	たるまえ号
製造年月日	昭和 13 年 3 月 9 日
機関車の規格	L : 12.65m、H : 3.85m、 W : 3.00m
機関車の重量	66.05t
動輪の直径	1.52m
水の量	6.80 t
石炭の量	3.00t
主な運転路線	深名線、留萌線、釧網線
運 転 距 離	1,736,304.6km (地球およそ 43 周)



V 事業推進における重点

1 科学展示活動

- (1) 科学展示物の公開、解説、指導を通じ、その原理を理解する学習活動の推進
- (2) ミールを通して、宇宙科学への関心を高める学習活動の推進
- (3) 太陽光発電学習拠点設備を通して、再生可能エネルギーについて理解を深める
- (4) 本館とミール展示館の個性を活かし、かつ連携を図る

2 天文普及活動

- (1) プラネタリウムや天体望遠鏡を活用した、効果的な普及活動の推進
- (2) 星空観望会や必要に応じた移動天文教室の実施による、天体への理解を深める

3 科学体験活動

- (1) 科学や工作など各種教室を通して、青少年に対する科学教育の醸成を図る
- (2) 出前教室「移動科学センター」などの実施により、地域のニーズに応える

VI 事業推進のための方針

1 市民、学校、関係団体との連携

- (1) 地域に根ざす、市民参加型の科学展示・天文普及及び科学体験事業の実施
- (2) 学校や関係団体と相互に連携を図った科学展示や天文普及及び科学体験事業の実施
- (3) 市民、学校、関係団体と連携し、科学に関する情報等の収集や調査、及びこれらを活用した普及活動の実施

VII 事業概要報告

1 科学展示活動

(1) 夜間開館

- ・内 容：通常開館時間に来館できない市民を対象に、本館展示及びミール展示館の夜間開館、科学実験ブースの設置などのイベント
- ・実施日：8月4日（木） 参加者数：190人
- ・実施日：1月6日（金） 参加者数：145人

(2) 2022年青少年のための科学の祭典苫小牧大会

- ・主 催：苫小牧科学の会・北海道科学の祭典実行委員会
- ・内 容：実験や工作を通して科学の面白さ、不思議さを体験し、楽しんでもらうイベント
- ・実施日：9月3日（土） 入場者数：184人 デモンストレーター：32人
- ・実験テーマ：「食品サンプルを作ろう」「発砲入浴剤を作ろう」等 14テーマ

(3) 第57回苫小牧市小中学生発明工夫（アイデア工作）展・第52回苫小牧市小中学生理科展

- ・内 容：市内小・中学生による、夏休み中の理科研究発表や発明工夫に関する作品を展示公開
- ・実施期間：9月17日（土）～19日（月）
- ・出 品 数：発明工夫展 9点、理科展 50点 合計 59点
- ・入賞者数：発明工夫展 7点、理科展 22点 合計 29点
- ・入館者数：1,386人
- ・表 彰 式：9月24日（土） 参加者数：28人

(4) 巡回展「はやぶさ2のミッションにチャレンジ！」の開催

- ・内 容：小惑星探査機「はやぶさ2」のミッションを遊びながら楽しめる体験型の展示物
- ・実施期間：4月23日（土）～5月15日（日） 入館者数：6,563人

(5) 特別展「星の衝突で、何ができた？～月のうさぎと私たちの地球～」の開催

- ・内 容：かつて宇宙のあちこちで無数に起きていた天体衝突について、最新の研究成果を紹介するパネル展示
- ・実施期間：7月23日（土）～8月21日（日） 入館者数：9,966人

(6) 特別展「はやぶさ2」実物大模型の展示

- ・内 容：小惑星探査機「はやぶさ2」の実物大模型やパネル等の展示
- ・実施期間：8月2日（火）～8月10日（水） 入館者数：4,189人

(7) 宇宙ステーション「ミール」ガイドツアー

- ・内 容：ミールについてプロジェクター等を利用して解説する
- ・実施日時：5月28日（土）、6月25日（土）、7月23日（土）、9月17日（土）、1月13日（金）
- ・参加人数：合計7組20人

(8) 館内ウォークラリー

- ・科学を学びながら、展示物に触れ体験する。

期 間		内 容	人数
夏休み	7月28日(木) ～ 8月16日(火)	展示物に設置してあるキーワードを探す	319人
冬休み	12月24日(土) ～ 1月15日(日)	展示物に設置してある「なぞとき問題」を解く	183人

入場者数合計：502人

2 天文普及活動

(1) プラネタリウム投影

○一般投影

期 間		番 組 名	入場者数
春の番組	4月1日(金) ～ 4月21日(木)	春の星空とおおぐま座の神話	253人
	5月11日(水) ～ 5月22日(日)		192人
夏の番組	5月28日(土) ～ 6月19日(日)	夏の星空とへびつかい座の神話	450人
	6月25日(土) ～ 8月28日(日)		1,830人
秋の番組	9月3日(土) ～ 11月27日(日)	秋の星空とペルセウス座の神話	2,026人
冬の番組	12月3日(土) ～ 3月5日(日)	冬の星空とはと座の神話	1,871人
春の番組	3月11日(土) ～ 3月31日(金)	春の星空ときりん座の神話	824人

入場者数合計：7,446人

○ゴールデンウィーク特別投影

- ・期 間：4月22日(金) ～ 5月10日(火)
- ・番組名：ぼくたち惑星8兄弟 入場者数：527人

○七夕特別投影

- ・期 間：7月5日(火) ～ 8月4日(木)
- ・番組名：七夕特集 入場者数：487人

(2) 星空観望会

- ・内 容：天体望遠鏡による星空観望
- ・実施日時と内容

実 施 日	時 間	内 容	人数
9月7日(水)	19:30～20:45	天体望遠鏡で月・土星の観望	17人
10月5日(水)	19:30～21:00	天体望遠鏡で月・木星・土星の観望	17人
11月8日(火)	18:30～21:00	天体望遠鏡で皆既月食・天王星食の観望	22人
11月16日(水)	18:00～19:30	天体望遠鏡で木星・土星の観望	15人
12月7日(水)	18:15～20:05	天体望遠鏡で月・火星・木星の観望	25人
1月18日(水)	19:15～19:45	天体望遠鏡で火星・すばるの観望	6人
2月2日(木)	18:30～19:45	天体望遠鏡で月・火星の観望	6人
3月2日(木)	18:25～19:15	天体望遠鏡で月・火星の観望	9人

参加人数合計：117人

(3) 移動天文教室

- ・内 容：学校や町内会等の団体の要請に応じ、地域で実施する教室

実 施 日	団 体 及 び グ ル ー プ 名	人 数
10 月 7 日 (金)	ウトナイ小学校	43 人

3 科学体験活動

(1) 科学センター学習

- ・内 容：宇宙や天文に関する体験学習
- ・対象学年：市内全小学校 5 年生
- ・期 間：令和 4 年 10 月 18 日 (火) ～ 令和 5 年 2 月 1 日 (水)
- ・実施時間：9：00 ～ 11：30
- ・授 業：クラスごとに 2 科目を選択

<選択授業>

宇宙ステーション「ミール」(50 分)
・ミールを活用し、宇宙ステーション及び宇宙環境について学ぶ
プラネタリウム (50 分)
・季節の星座と星の動きや星の明るさ、色について学ぶ
真空実験 (50 分)
・大気と真空について学ぶ

実施日・利用者数 年間 23 校、47 学級、児童数 1,473 人、引率 77 人 合計 1,550 人

月	日	曜日	実施学校	人数	月	日	曜日	実施学校	人数
10	18	火	緑小学校	86人	12	13	火	豊川小学校	55人
	20	木	糸井小学校	34人		14	水	美園小学校	75人
	21	金	若草小学校	55人		15	木	拓進小学校	79人
	25	火	清水小学校	36人		16	金	拓進小学校	71人
	28	金	北光小学校	76人		20	火	樽前小学校	11人
11	1	火	植苗小学校	7人		21	水	明野小学校	57人
	8	火	拓勇小学校	62人		22	木	泉野小学校	82人
	9	水	拓勇小学校	66人	1	19	木	ウトナイ小学校	72人
	10	木	大成小学校	71人		20	金	ウトナイ小学校	75人
	11	金	沼ノ端小学校	63人		24	火	勇払小学校	12人
	17	木	日新小学校	65人		25	水	北星小学校	61人
	22	火	東小学校	37人		26	水	澄川小学校	87人
	24	木	錦岡小学校	79人	2	1	水	西小学校	40人
	25	金	錦岡小学校	36人					

(2) 科学・工作教室

- こどもの日・文化の日など、親子で参加できる工作や科学の実験教室

実 施 日	事 業 名	内 容	人数
4月 20日 (水)	プレスクール工作体験	こどものひのかざりをつくろう	7人
5月 5日 (木)	こどもの日工作教室	竹馬を作ろう	31人
7月 16日 (土)	木工教室	本立てを作ろう	28人
7月 23日 (土)	発明工夫工作教室	AM/FMラジオを作ろう	25人
8月 10日 (水)	こども環境工作教室	太陽光発電を利用したLED常夜灯を作ろう	13人
9月 14日 (水)	プレスクール工作体験	ハロウィンのかざりをつくろう	8人
11月 3日 (木)	文化の日工作教室	七宝焼きを作ろう	24人
11月 12日 (土)	サイエンスカフェ	数のふしぎ、図形のふしぎ	18人
11月 16日 (水)	プレスクール工作体験	クリスマスのかざりをつくろう	中止
11月 19日 (土)	食育・科学教室	発見！チョコレートのひみつ	34人
12月 10日 (土)	天文教室	星座早見盤作りで星座探しを学ぼう	9人
1月 6日 (金)	こども環境工作教室	ソーラーカーを作ろう	27人
1月 21日 (土)	サイエンスカフェ	人工知能と未来を考える、人工知能と倫理	22人
2月 4日 (土)	プログラミング教室	パソコンでプログラミング体験	4人
2月8日(水)・9日(木)	プレスクール工作体験	ひなまつりのかざりをつくろう	4人
2月 18日 (土)	プログラミング教室	パソコンでプログラミング体験	11人
2月 18日 (土)	子どもわくわく教室	親子で楽しむ理科実験教室	22人
3月 4日 (土)	プログラミング教室	パソコンでプログラミング体験	12人

参加人数合計：299人

(3) 工作教室

- 夏休み・冬休み・春休み期間に小中学生を対象にした工作教室

実 施 日	内 容	人数
8月 5日 (金)	風見どりを作ろう	26人
1月 12日 (木)	竹とんぼを作ろう	26人
3月 30日 (木)	北海道の形の「知恵の輪」を作ろう	25人

参加人数合計：77人

(4) 電子工作教室

- 小学4年生～中学生を対象の電子工作の教室

実 施 日	内 容	人数
12月 3日 (土)	光通信機を作ろう	26人

(5) 科学ふれあい教室

- ・小中学生を対象に簡単にできる工作や科学の教室

実 施 日	内 容	人数
7月 2日 (土)	アイスクリームを作ろう	29人
8月 6日 (土)	ふしぎな部屋を作ろう	24人
11月 26日 (土)	重さを変える？滑車を作ろう	20人
12月 17日 (土)	ガリレオ温度計を作ろう	26人
3月 25日 (土)	入浴剤と芳香剤を作ろう	24人

参加人数合計：123人

(6) 移動科学センター

- ・学校、地域に出向き工作実習、科学講座などの活動や、指導担当者への実習協力などを行う。
- ・利用者数 団体、人

	団 体 名	実 施 日	内 容	人数
1	清水小学校	7月 22日 (金)	スライム作り	87人
2	住吉コミュニティーセンター	8月 9日 (火)	バルーンスライム作り	20人
3	植苗小学校	10月 13日 (木)	スーパーボールロケット作り	32人
4	植苗小学校	11月 11日 (金)	エコマイク作り	23人
5	若草小学校	12月 6日 (火)	紙コップ万華鏡作り	49人
6	若草小学校	12月 7日 (水)	ブーメラン作り	83人
7	泉野小学校	12月 16日 (金)	スーパーボールロケット作り	57人
8	樽前小学校	2月 3日 (金)	グングンのぼるサイ・エン・スー作り	7人
9	植苗小学校	2月 16日 (木)	入浴剤作り	18人
10	ペンギン保育園	2月 17日 (金)	ころころサイ・エン・スー作り	10人

参加人数合計：386人

(7) 特別企画「南極についての話を聞こう」の開催

- ・内 容：小中学生を対象に、元日本南極地域観測隊員が南極での体験やその歴史について話すことで、地球環境に対する興味関心を高めることを目的とした講演会
- ・実施期間：2月 25日 (土) 参加人数：20人

4 関係団体・機関との連携活動

・関係団体、他機関等と連携した事業

	団体・機関名	実 施 日	内 容	人数
1	日本宇宙少年団 苫小牧分団	5月 21日 (土) ～6月 10日 (金)	アサガオの種子「NAOKO☆アサガオ」の配布	—
2	苫小牧市総合政策 部政策推進課	9月 5日 (月)	苫小牧市ワーケーションモニターツアーにおける星空観望	中止
		9月 12日 (月)		6人
		10月 17日 (月)		6人
		10月 24日 (月)		5人
3	中央図書館	2月 19日 (日)	プラネタリウムで絵本の読み聞かせと 星空解説	40人
4	苫小牧市総務部総 務課	2月 24日 (金)	市役所本庁舎12階展望回廊★夜景&星 空観賞会★	21人
		3月 8日 (水)		27人
5	(株)レッドイーグルス 北海道	2月 25日 (土)	パブリックビューイング in プラネタリ ウム(アジアリーグアイスホッケー試合 観戦及び星空解説)	31人

Ⅷ 入館者の動向

令和4年度 入館利用者数

月			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
開館日数			26	26	26	27	26	26	26	26	24	24	24	27	308	
科学 展示活動	展示 見学	一般	6,710	7,109	6,208	7,675	8,754	6,984	6,414	7,414	5,190	4,750	4,609	7,519	79,336	
		団体	団体数	2	1	7	13	11	7	8	13	5	2	6	6	81
			人数	33	29	260	468	204	209	156	238	158	29	144	148	2,076
		夜間開館					0	190				145				335
		計		6,743	7,138	6,468	8,143	9,148	7,193	6,570	7,652	5,348	4,924	4,753	7,667	81,747
	実習等	その他	15	13	20	86	269	10	19	31	36	159	18	16		692
		計	15	13	20	86	269	10	19	31	36	159	18	16		692
	小計		6,758	7,151	6,488	8,229	9,417	7,203	6,589	7,683	5,384	5,083	4,771	7,683		82,439
天文普及活動	プラ ネタ リウ ム	一般	440	640	413	584	1,049	554	528	661	448	667	494	864	7,342	
		団体	団体数			1	13	10	4	3	7	3	3	5	4	53
			人数			19	480	176	94	68	121	62	42	103	93	1,258
		計		440	640	432	1,064	1,225	648	596	782	510	709	597	957	8,600
	教室	星空観望会						17	17	37	25	6	6	9		117
		移動天文教室							43					27		70
		その他		5	2	2		62				9				80
		計	0	5	2	2	0	79	60	37	25	15	6	36		267
	小計		440	645	434	1,066	1,225	727	656	819	535	724	603	993		8,867
科学 体験活動	科学センター学習								287	486	430	307	40		1,550	
	科学ふれあい教室					29	24			20	26			24	123	
	移動科学センター					87	20		32	23	189		35		386	
	その他		7	31		53	163	192		76	35	231	140	37	965	
	小計		7	31	0	169	207	192	319	605	680	538	215	61	3,024	
合計			7,205	7,827	6,922	9,464	10,849	8,122	7,564	9,107	6,599	6,345	5,589	8,737	94,330	

※ プラネタリウム「一般」には、夜間開館時のプラネタリウム投影の人数も含む

Ⅸ 苫小牧市科学センター条例・規則

苫小牧市科学センター条例

昭和 44 年 10 月 27 日

条例第 32 号

改正 昭和 47 年 10 月 5 日条例第 29 号

昭和 48 年 3 月 30 日条例第 12 号

昭和 60 年 7 月 5 日条例第 11 号

(目 的)

第 1 条 青少年の科学的知識の普及と文化の向上を図るため、科学センター（以下「センター」という。）を設置する。

(名称及び位置)

第 2 条 センターの名称及び位置は、次のとおりとする。

名称 苫小牧市科学センター

位置 苫小牧市旭町 3 丁目 1 番 12 号

(入場の制限)

第 3 条 教育委員会は、第 1 条の目的の達成上又はセンターの管理上適当でないと認めた者に対し、センターへの入場を拒否し、又はセンターからの退場を命じることができる。

(損害賠償の義務)

第 4 条 入場者は、センターの建物、附属施設、その他の物件を損傷、汚損又は滅失したときは、その損害を賠償しなければならない。ただし、入場者の責に帰することができないときは、この限りでない。

(雑 則)

第 5 条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

この条例は、市長が規則で定める日（昭和 45 年 1 月 15 日）から施行する。

附 則（昭和 47 年 10 月 5 日条例第 29 号改正）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（昭和 48 年 3 月 30 日条例第 12 号改正）

この条例は、昭和 48 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（昭和 60 年 7 月 5 日条例第 11 号改正抄）

1 この条例は、昭和 60 年 11 月 1 日から施行する。

苫小牧市科学センター規則

昭和60年8月29日

教育委員会規則第10号

改正	昭和63年4月1日教育委員会規則第5号	平成元年5月1日教育委員会規則第1号
	平成4年2月24日教育委員会規則第1号	平成4年3月31日教育委員会規則第2号
	平成17年4月11日教育委員会規則第16号	平成22年7月26日教育委員会規則第16号
	平成23年3月30日教育委員会規則第6号	平成25年3月21日教育委員会規則第3号
	平成27年4月1日教育委員会規則第1号	平成31年3月22日教育委員会規則第3号

(趣 旨)

第1条 この規則は、苫小牧市科学センター（以下「センター」という。）の管理運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(事 業)

第2条 センターは、苫小牧市科学センター条例（昭和44年条例第32号。以下「条例」という。）第1条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 科学及び科学技術に係る資料及び装置の展示に関すること。
- (2) 科学及び天文に係る実験、実習及び講習会等の開催に関すること。
- (3) プラネタリウム投影及び天体観測会の開催に関すること。
- (4) 科学及び科学技術に係る資料及び情報の収集、調査及び提供に関すること。
- (5) その他条例第1条の目的を達成するため必要な事業。

(開館時間)

第3条 センターの開館時間は、次のとおりとする。ただし、教育委員会（以下「委員会」という。）が必要と認めるときは、これを変更することができる。

- (1) 展示室は、午前9時30分から午後5時まで
- (2) 実験実習室その他の施設は、午前9時から午後5時まで

(休館日)

第4条 センターの休館日は、次のとおりとする。ただし、委員会が必要と認めるときは、休館日を変更し、又は臨時に休館することができる。

- (1) 月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い国民の祝日に関する法律に規定する休日でない日）
- (2) 12月29日から翌年1月3日まで

(入館の制限)

第5条 条例第3条の規定により、センターへの入館を制限する者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 保護者等の同伴しない幼児
- (2) センター内の秩序を乱すおそれがあると認められる者
- (3) その他センターの管理上適当でないと認められる者

(入館者の遵守事項)

第6条 入館者は、次の掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 展示物、実験器具等の取扱いを適切に行うこと。
- (2) 所定の場所以外での飲食又は喫煙をしないこと。
- (3) 物品の販売、募金、宣伝その他これらに類する行為をしないこと。
- (4) その他係員の指示に従うこと。

(職 員)

第7条 センターに館長を置く。

2 センターに副館長、主査その他必要な職員を置くことができる。

(職 務)

第8条 館長は、上司の命を受け、センターの事務を掌理し、所属の職員を指揮監督する。

2 副館長は、館長を補佐し、センターの事務を整理する。

3 主査は、上司の命を受け、事務を処理する。

4 その他の職員は、上司の命を受け、事務に従事する。

(文書記号)

第9条 センターの文書記号は、「苦教科」とする。

(雑 則)

第10条 この規則に定めるもののほか必要な事項は、別に定める。

附 則

1 この規則は、昭和60年11月1日から施行する。

2 苦小牧市青少年センター条例施行規則（昭和45年教育委員会規則第1号）は、廃止する。

3 苦小牧市教育委員会事務局組織規則（昭和36年教育委員会規則第2号）の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

4 苦小牧市教育委員会公印規則（昭和50年教育委員会規則第8号）の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

5 この規則の施行の日（以下「施行日」という。）の前日において現に青少年センターの職員である者のうち、施行日に別に辞令を発せられない者は、科学センターの相当の職員となるものとする。

附 則（昭和63年4月1日教育委員会規則第5号改正）

この規則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則（平成元年5月1日教育委員会規則第1号改正）

この規則は、平成元年5月1日から施行する。

附 則（平成4年2月24日教育委員会規則第1号改正）

この規則は、平成4年4月1日から施行する。

附 則（平成4年3月31日教育委員会規則第2号改正）

この規則は、平成4年4月1日から施行する。

附 則（平成17年4月11日教育委員会規則第2号改正）

この規則は、平成17年4月12日から施行する。

附 則（平成22年7月26日教育委員会規則第16号改正）

この規則は、平成22年8月1日から施行する。

附 則（平成23年3月30日教育委員会規則第6号改正）

この規則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則（平成25年3月21日教育委員会規則第3号改正）

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則（平成27年4月1日教育委員会規則第1号改正）

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則（平成31年3月22日教育委員会規則第3号改正）

この規則は、平成31年4月1日から施行する。

X 利 用 案 内

(1) 開館時間 午前 9 : 30 ～ 午後 5 : 00

(2) 休 館 日

毎 週 月 曜 日	月曜日が国民の祝日に当たる場合、次の平日が休館日
年 末 年 始	12 月 29 日から翌年 1 月 3 日まで

(3) プラネタリウム一般投影時刻

平 日	午後 2 : 00～	午後 3 : 30～	定員 20 名
土・日・祝日	午前 11 : 30～	午後 2 : 00～	
春休み・夏休み・冬休み		午後 3 : 30～	

※ 当面の間、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予約制となっています

※ 投影機器の点検整備、番組入替等により投影休止をすることがあります

(4) 入 館 料 無 料

(5) 住 所 等 〒053-0018 苫小牧市旭町 3 丁目 1 番 12 号

TEL (0144) 33-9158

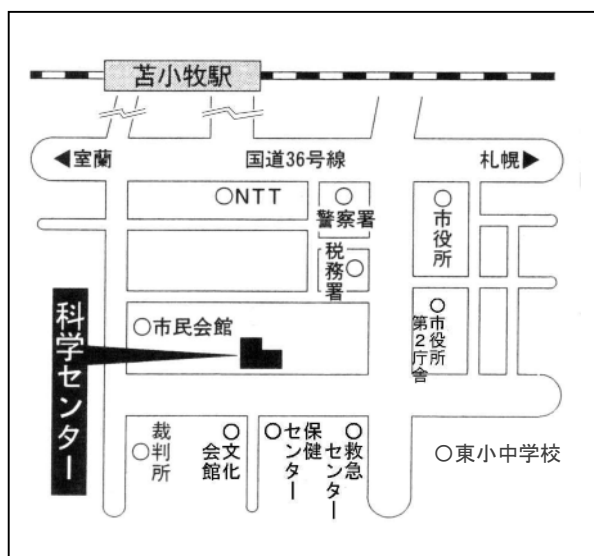
FAX (0144) 33-9159

E-mail:kagaku@city.tomakomai.hokkaido.jp

パソコン用ホームページ

<https://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/kagaku/>

案内図



苫小牧駅から徒歩で 20 分。
市民会館を目標にご来館ください。

令和4年度 苫小牧市科学センター年報

2022

初版発行 令和5年4月

改訂版発行 令和5年10月

編集・発行 苫小牧市科学センター

住 所 苫小牧市旭町3丁目1番12号
